

## 人間社会学部創立10周年によせて



総合企画部長 奥島 尚樹

私が人間社会学部設置に関わったのは、開設の前年である平成15年4月からになります。学長室課長補佐として、カリキュラム、教員の選考、教授会、学部長の選出方法、各種委員の選出など、運営に関する動きが活発になってきた頃、初めて先生方にお会いいたしました。認可前ではありましたが、認可後すぐ活動できるようにするため、まだ着任前の先生方に何度も大学までご足労いただき、運営準備委員会、図書選定委員会などの様々な打合せや、開設記念祝賀会などにご出席いただきました。

まだ教務関連の経験が浅く、先生方の考えの実現にあまりお力添えできませんでしたことは、今でも残念に思っています。

人間社会学部設置から10年ということで、振り返りますともう10年も経ったのか、という時の流れの速さを感じます。

開設当初の新しい取り組みも、10年そのままですと古くなってしまいましたが、人間社会学部は平成23年度の現代生活学科開設を含め、常に新しい試みと挑戦を続けている学部だと思っています。良い取組を継続することは大切なことですが、大学の活性化には新しい取組を考え続けることも大事です。今後も人間社会学部の先生方が試行する新しい挑戦に期待するとともに、学生にもその心意気が伝わる、実践女子大学の中でいつまでも熱い学部であって欲しいと願っています。